



β版

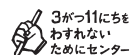
わすれん! 録音小屋

ふたりひと組で

震災にまつわる物語を残していく

「わすれん! 録音小屋」

当時のこと、そこからの暮らし、いまの気持ち。
これまで聞けなかったこと、話したかったこと。
あなたの家族や友人などに聞いてみませんか。
聞き手と話し手のふたりひと組で、録音して残し、
後世に伝えていく「3がつ11にちをわすれないため
にセンター(わすれん!)」のプロジェクトです。



3がつ11にちを
わすれない
ためにセンター

smu せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

わすれん! 録音小屋 β版

録音小屋とは？

- 録音小屋は、ふたりで入る小さな録音室です。
- どなたでもお気軽にご利用いただけます。
- ふたりひと組で小部屋に入り、震災にまつわるお話を録音していきます（最大60分間まで）。
- 録音されたお話は、後世に伝えていくことを目的にわすれん!に保存され、ウェブなどで公開されます。
- 音声の公開の可否については、録音後にご相談いただくこともできますので、安心してご利用ください。
- ご希望の方には、録音したデータを後日お送りします。

利用するには？

【受付場所】

せんだいメディアテーク
2f 映像音響ライブラリー 受付カウンター

【受付時間】

火曜日～金曜日 10:00-18:30

土曜日・日曜日・休日 10:00-16:30

お休みは、仙台市市民図書館に準じます。詳しくはお問い合わせください。

- ご利用の際は、受付カウンターに直接お越しください。
- 空き状況等のお問い合わせは、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】

せんだいメディアテーク企画・活動支援室
tel : 022-713-4483

なにを話す？ / お話のてがかりとなる質問例

震災が起こったあとどうしましたか？

震災当時何を食べましたか？

震災のニュースや情報に触れたのはいつですか？

どれくらいの時期に仕事(学校)を再開しましたか？

大変だったことはありますか？

当時はげみになったことはありますか？

できなかったこと、あきらめたことはありますか？

当時言えなかったことはありますか？

震災から今までどのような生活を送ってきましたか？

震災前と変わったことはありますか？

わすれたくないことはありますか？

わかりあえないと感じることはありますか？

わかりあうためには何ができるとおもいますか？

何か決断をしましたか？

最近、考えるようになったことはありますか？

これからしてみたいことは何ですか？

録音の流れ

最大60分間録音できます。

利用のご案内

プロジェクトに関する
大切なご案内

なにを話す？

質問例を参考に
何を話すか考えます

お話を録音

ご自由に
お話しください

録音されたものはどうなるの？

みなさんに録音していただいたお話を
ウェブで公開しています。

<https://recorder311.smt.jp/series/rokuongoya>



3がつ11にちをわすれないためにセンター

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 せんだいメディアテーク
tel 022-713-4483 / fax 022-713-4482
mail: office@smt.city.sendai.jp <https://recorder311.smt.jp/>

3がつ11にちをわすれないためにセンター（通称：わすれん!）は、せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信していくため、2011年5月3日に始めたプラットフォームです。参加者は、個人個人が体験した震災を映像、写真、音声、テキストで記録します。それらの記録は、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、さまざまな形で活用されています。

- 地下鉄 南北線勾当台公園駅から徒歩6分 / 東西線大町西公園駅から徒歩13分
- バス 仙台市営バス 仙台駅前 -60番（仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前）のりばから「定禅寺通市役所前 経由交通局大学病院」行き（系統番号がJまたはXで始まるバス）で約10分、メディアテーク前下車。

